

## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 20 年 2 月 15 日

上場会社名 東洋合成工業株式会社

上場取引所 JASDAQ

コード番号 4970

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 木村 正輝

問合せ先責任者 取締役経理部長 三代川 雅人

TEL (047)327-8080 (代表)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の財務・業績の概況（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	10,971	8.1	361	△53.1	251	△64.9	64	△85.6
19年3月期第3四半期	10,149	7.2	770	△17.0	716	△10.9	447	△9.5
19年3月期	13,642		885		795		428	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	7	92	-	-
19年3月期第3四半期	54	90	-	-
19年3月期	52	60	-	-

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	28,463		8,317		29.2	1,021	57	
19年3月期第3四半期	28,848		8,446		29.3	1,037	18	
19年3月期	27,751		8,428		30.4	1,035	30	

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金									
	第1四半期末		中間期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	-	-	7	50	-	-	7	50	15	00
20年3月期	-	-	7	50	-	-	-	-	-	-
20年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	7	50	15	00

### 3. 平成 20 年 3 月期の業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日） 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	14,700	7.8	300	▲66.1	150	▲81.2	280	▲34.6	34	39

## 4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

**※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

業績予想は、本資料の発表日現在における計画・見通しに基づく予測であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、記載の予想数値と異なる場合があります。

**【定性的情報・財務情報等】**

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、輸出および企業収益は底堅く推移したものの、原油高による原材料価格の高騰やサブプライムローン問題による影響から、先行きに対する不透明感が強まりました。

当社の関連業界であるエレクトロニクス業界は、薄型テレビを中心にパソコン、携帯電話などの販売が好調に推移した反面、メモリ価格の下落が一段と進むなど厳しい環境となりました。

また、汎用化学品業界につきましては、原油高による原材料価格の高騰や価格競争激化が続き、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は積極的な営業活動や新製品の開発に努めた結果、当第 3 四半期の売上高は 10,971 百万円（前年同期比+822 百万円、+8.1%）となりました。

## ・ 感光性材料事業部門

半導体用途向けは、エキシマレーザー用感光材を中心に新製品開発や営業活動に注力いたしましたが、期初における生産調整の影響などにより、売上高は前年同期比 0.7%減少いたしました。一方、液晶用途向けは液晶テレビを中心としたデジタル家電の好調な販売が続いており、売上高は前年同期比 28.4%増加いたしました。また、イオン液体・電解液については、引続き精力的に需要開拓を進めております。

以上の結果、同部門の売上高は 6,456 百万円（前年同期比+443 百万円、+7.4%）となりました。

## ・ 化成品事業部門

グリーンケミカル事業の主力である溶剤リサイクルは、原油高による各種溶剤の価格高騰や環境問題の高まりを背景に着実に需要は拡大しており、市場開拓に注力いたしました。また、香料材料は、B R I C s 諸国の経済成長を背景に香料材料の需要は拡大し、市場開拓と新製品の開発に注力いたしました。

以上の結果、同部門の売上高は 3,286 百万円（前年同期比+304 百万円、+10.2%）となりました。

## ・ ロジスティック事業部門

物流コスト削減により厳しい事業環境が続いておりますが、サービス・顧客満足度向上に努め、高稼働率の維持および前期 1 月に稼働した新設タンク 4 基が寄与した結果、同事業部門の売上高は 1,228 百万円（前年同期比+74 百万円、+6.5%）となりました。

損益面では、原油高による原材料価格の上昇に加え、昨年 11 月に発生した千葉工場火災事故による稼働率低下の影響で、営業利益は 361 百万円（前年同期比△409 百万円、△53.1%）、経常利益は 251 百万円（前年同期比△464 百万円、△64.9%）、四半期純利益は 64 百万円（前年同期比△382 百万円、△85.6%）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、現金及び預金の増加391百万円、受取手形及び売掛金の増加391百万円などにより、前事業年度末に比べ712百万円増加し28,463百万円となりました。

負債は短期借入金の増加593百万円、長期借入金の増加659百万円などにより、前事業年度末に比べ823百万円増加し20,146百万円となりました。

純資産は前事業年度末に比べ111百万円減少し8,317百万円となりました。この結果、当第3四半期末時点での自己資本比率は、前事業年度末の30.4%から29.2%になりました。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当社は、平成19年11月12日付「平成20年3月期 中間決算短信」の通期業績予想を変更いたしました。

変更内容につきましては、本日公表いたしました「平成20年3月期通期業績予想の修正並びに千葉工場火災事故にともなう特別損益のお知らせ」をご参照下さい。

## 4. その他

### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準及びその他一部に簡便な方法を採用しております。

### (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 5. (要約) 四半期財務諸表

## (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第3四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第3四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	1,747	1,883	135	7.8	1,491
受取手形及び売掛金	4,063	3,617	△ 446	△11.0	3,225
たな卸資産	5,179	4,956	△ 223	△ 4.3	5,242
その他	326	639	313	96.1	387
流動資産合計	11,316	11,096	△ 220	△ 1.9	10,347
II 固定資産					
有形固定資産	16,393	16,216	△ 176	△ 1.1	16,257
無形固定資産	181	176	△ 5	△ 2.9	177
投資その他の資産	956	973	17	1.8	968
固定資産合計	17,531	17,367	△ 164	△ 0.9	17,403
資産合計	28,848	28,463	△ 384	△ 1.3	27,751
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	2,181	2,197	15	0.7	2,174
短期借入金	9,540	8,977	△ 563	△ 5.9	8,383
その他	2,539	1,824	△ 715	△28.2	2,324
流動負債合計	14,261	12,998	△1,263	△ 8.9	12,882
II 固定負債					
長期借入金	5,068	6,022	953	18.8	5,363
その他	1,071	1,125	54	5.1	1,077
固定負債合計	6,140	7,147	1,007	16.4	6,440
負債合計	20,401	20,146	△ 255	△ 1.3	19,322
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	1,618	1,618	-	-	1,618
資本剰余金	1,541	1,541	-	-	1,541
利益剰余金	5,137	5,060	△ 76	△ 1.5	5,118
自己株式	△0	△0	-	-	△0
株主資本合計	8,297	8,220	△ 76	△ 0.9	8,278
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	149	96	△ 52	△35.3	150
評価・換算差額等合計	149	96	△ 52	△35.3	150
純資産合計	8,446	8,317	△ 129	△ 1.5	8,428
負債及び純資産合計	28,848	28,463	△ 384	△ 1.3	27,751

## (2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	10,149	10,971	822	8.1	13,642
II 売上原価	7,984	9,050	1,066	13.4	10,820
売上総利益	2,164	1,920	△ 243	△11.3	2,821
III 販売費及び一般管理費	1,393	1,559	165	11.9	1,936
営業利益	770	361	△ 409	△53.1	885
IV 営業外収益	110	82	△ 28	△25.9	137
V 営業外費用	165	192	26	16.0	226
経常利益	716	251	△ 464	△64.9	795
VI 特別利益	-	0	0	0.0	9
VII 特別損失	4	153	149	-	149
税金等調整前 四半期(当期)純利益	711	97	△ 614	△86.3	655
税金費用	264	32	△ 231	△87.6	227
四半期(当期)純利益	447	64	△ 382	△85.6	428